

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 8月10日

福岡地方裁判所行橋支部

裁判所書記官 成 清 一 彦

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 8月 26日から 令和 8年 9月 2日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8年 9月 9日 午前10時00分 福岡地方裁判所行橋支部 売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8年 9月 30日 午前10時00分 福岡地方裁判所行橋支部
買受申出の保証の 提供方法		下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）		☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 8月 10日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。		



913

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
2	7,320,000 5,856,000		1,464,000	67,958	0



物 件 目 録

2 (一棟の建物の表示)

所 在 行橋市中央三丁目 4 8 2 番地 1

建物の名称 グランドパレス行橋駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 中央三丁目 4 8 2 番 1 の 3 6

建物の名称 1 1 0 1

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 1 1 階部分 7 1 . 0 8 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 行橋市中央三丁目 4 8 2 番 1

地 目 宅地

地 積 1 0 1 6 . 5 5 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 1 0 2 0 0 分の 2 0 9



物 件 明 細 書

令和 8年 7月 9日

福岡地方裁判所行橋支部

裁判所書記官 成 清 一 彦

1 不動産の表示

【物件番号2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

【物件番号2】

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

Aが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号2】

管理費等の滞納あり

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があ



ります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

2 (一棟の建物の表示)

所 在 行橋市中央三丁目 4 8 2 番地 1

建物の名称 グランドパレス行橋駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 中央三丁目 4 8 2 番 1 の 3 6

建物の名称 1 1 0 1

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 1 1 階部分 7 1 . 0 8 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 行橋市中央三丁目 4 8 2 番 1

地 目 宅地

地 積 1 0 1 6 . 5 5 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 1 0 2 0 0 分の 2 0 9



令和7年(ケ)第2号
その2(物件2)
令和7年3月6日受理
令和7年4月15日提出

現況調査報告書

福岡地方裁判所行橋支部

執行官 小 柳 智 児

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

2 (一棟の建物の表示)

所 在 行橋市中央三丁目 4 8 2 番地 1

建物の名称 グランドパレス行橋駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 中央三丁目 4 8 2 番 1 の 3 6

建物の名称 1 1 0 1

種 類 居宅

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 1 1 階部分 7 1 . 0 8 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 行橋市中央三丁目 4 8 2 番 1

地 目 宅地

地 積 1 0 1 6 . 5 5 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 1 0 2 0 0 分の 2 0 9

(区分所有建物用 1)

[illegible]

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 1 関係)			
占有範囲		■全部 ☐	
占有者		☐ 債務者 ■A	
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
■関係人(■A(占有者) ☐ ())の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨			
占有権原		■賃借権 ☐ 使用借権 ☐	
占有開始時期		令和3年3月1日	
最初の契約等	契約日	令和3年3月1日	
	期間	令和3年3月1日から ☐ 年 月 日まで 年間 ■期間の定めなし	
更新の種別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の契約等	期間	年 月 日から ☐ 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし	
	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
	賃料・支払時期等	毎月 金60,000円(毎月末日限り 翌月分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		☒ ない ☐ ある(☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他			
執行官の意見		☐ 上記のとおり ☐ 下記のとおり ■「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■管理会社社員	1 本件建物の管理費等は2枚目のとおりです。 2 本件一棟の建物の総戸数は51戸です。
■A (占有者)	1 本件建物の所有者は父親ですが、私が同居人と住んでいます。 2 立入調査には父が立ち会えませんので、私がお答えします。 3 父との間で賃貸借契約書は作成していませんが、賃貸借契約の内容等は3枚目のとおりです。 4 賃貸借期間の定めはありません。賃料の支払いについては現金で行っており、領収書などありませんので、賃料の授受を疎明することはできません。 5 本件建物を父が購入した時には室内は改装されていたと思います。 6 室内で猫を4匹飼っていますので、壁クロス等の数か所に引っ掻き傷があります。 7 室内ドアの数か所には凹みなどの傷があります。 8 その他室内には特段の損傷や不具合等はありませんが、本件一棟の建物自体は築29年になりますので、経年相当の劣化はあると思います。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■ (接道)

本件敷地権の目的たる土地は、公図のとおり無地番の公道（公図上は「道」）に接面している。

(本件建物の占有状況について)

関係人の陳述及び立入調査の結果等から2枚目記載のとおりと認めた。

なお、Aの占有権原については賃借権との主張がされたが、客観的に賃料の授受を疎明する資料が提出されない限りは、占有者Aと所有者は親子の関係にあることから使用借権と認めるを相当と思料する。

(本件建物の損傷等について)

関係人の陳述のとおり。

なお、室内は多数の物が溢れており、室内の詳細な状況は確認できなかったが、経年相当の汚損等は存すると思われる。

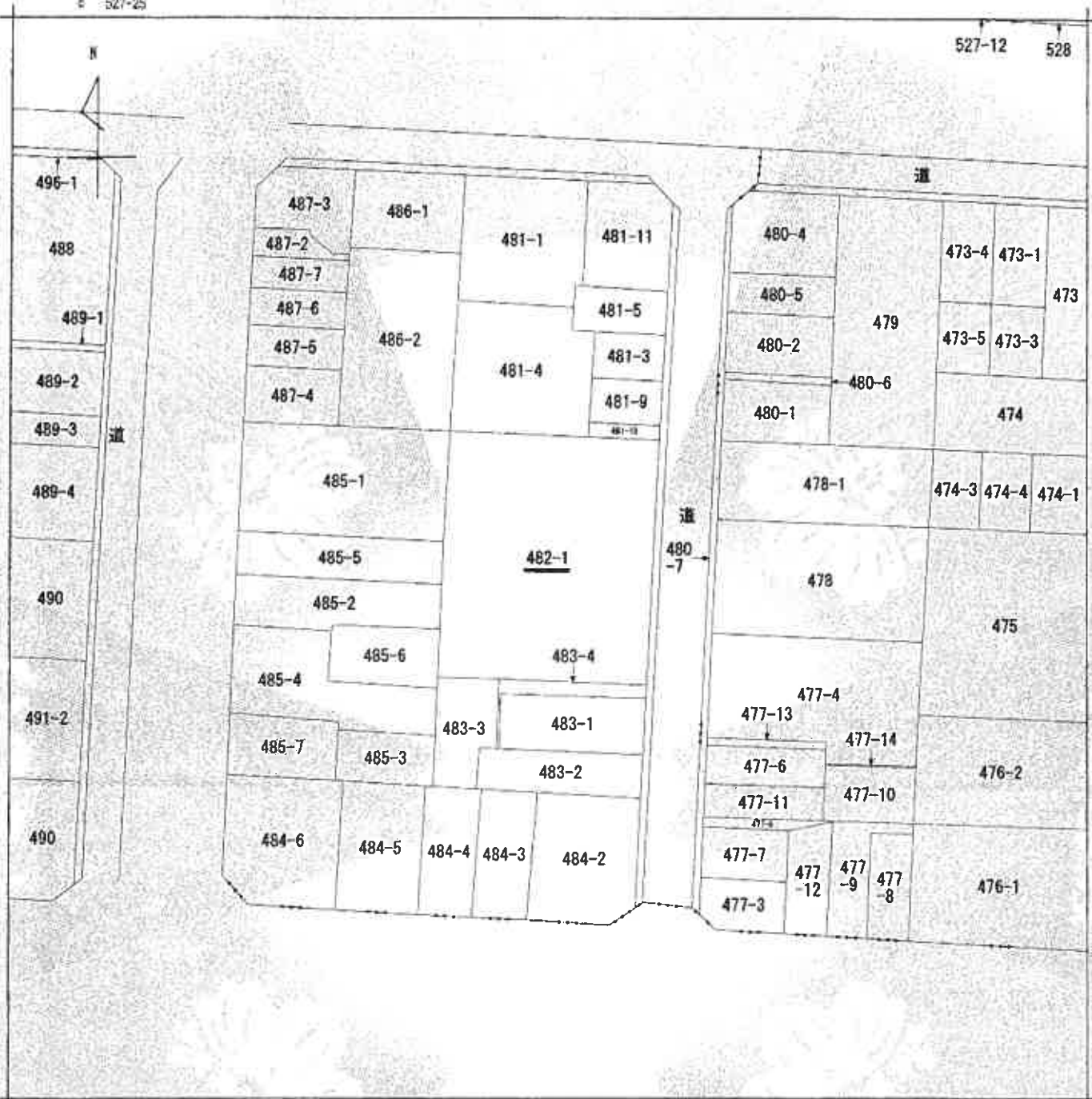
ベランダには、鳩等による糞害が見受けられる。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(調査経過用)

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R 7年 3月11日 (火) 13:10 - 13:20	執行官室	建物図面請求
R 7年 3月12日 (水) 12:40 - 12:50	執行官室	ライフライン調査 (行橋市上水道課)
R 7年 3月13日 (木) 13:05 - 13:10	所有者方	(不在) 立入調査への協力依頼書投函
R 7年 3月13日 (木) 13:20 - 13:50	物件所在地	現地特定, 占有調査, 管理会社調査, 写真撮影 (不在) 立入調査への協力依頼書投函
R 7年 3月13日 (木) 15:00 - 15:20	福岡法務局 行橋支局	公図, 地積測量図, 建物図面等の調査 登記事項要約書交付申請
R 7年 3月18日 (火) 15:15 - 15:25	執行官室	滞納管理費等調査 (電話, FAX)
R 7年 3月31日 (月) 14:40 - 14:45	執行官室	占有状況等について居住者から聴取 (電話) 立入調査への協力依頼
R 7年 4月2日 (水) 10:50 - 11:30	物件所在地	立入調査, 写真撮影 居住者と面談
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 解錠技術者及び立会人を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 解錠技術者に解錠させて 建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注)チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の略略を記載した図面です。



A 中央2丁目

請求部	所在	行橋市中央三丁目				地番	482番1				
出力縮尺	不明	精度区分		座標系又は記号		分類	地図に準ずる図面			種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

A 4判に縮小

令和7年3月13日

福岡法務局行橋支局
登記官

請求番号: 3-1
(1/1)

(7枚目)

公用

登記年月日：平成8年5月9日

昭和8年5月9日登記

各階平面図

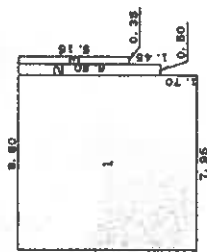
111173

家屋番号
中央3丁目
482番1の36

建物の所在
行橋市中央3丁目482番地1

建物各階平面図

区分した建物の存する部分 11階部分
建物の番号 1101

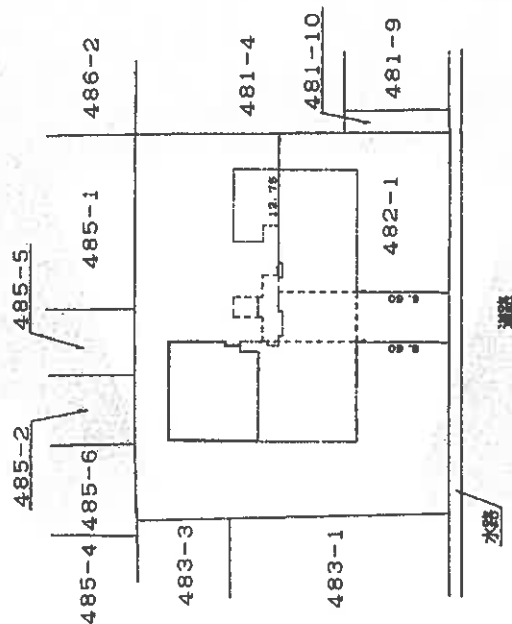


求積表

1	8.30	x	7.95	=	65.9850
2	6.60	x	0.50	=	3.3000
3	5.15	x	0.35	=	1.8025
合計					71.0875
床面積					71.08㎡

写真撮影位置方向

①



製作者

申請人

縮尺

1/250

縮尺

1/500

平成8年4月30日作成
(福岡県土地家屋調査士会)

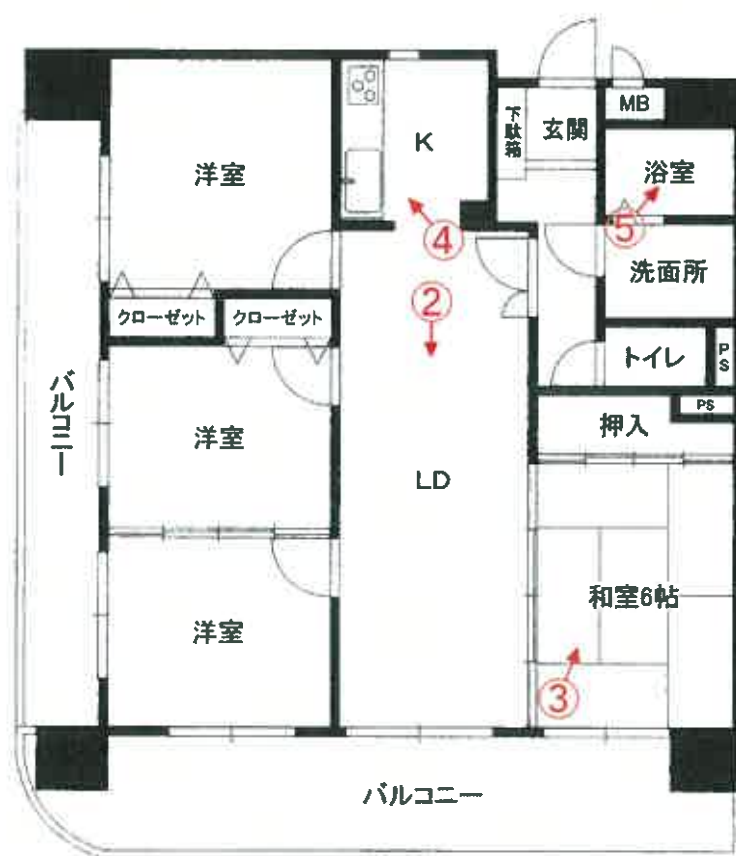
これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和7年3月13日 福岡地務局行橋支局

登記官

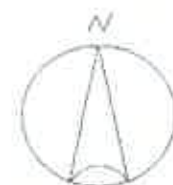
A4判に縮小

間取図

↑ 写真撮影位置方向



家屋番号: 中央3丁目482番1の36





No. 1

本件建物（一棟）を撮影



No. 2

本件建物の室内を撮影



No. 3

同 上



No. 4

本件建物の室内を撮影



No. 5

同 上

No.

令和 7 年（ケ）第 2 号

その2

令和 7 年 4 月 2 日 現地調査

令和 7 年 4 月 8 日 評 価

福岡地方裁判所行橋支部 御中

評 価 書

物件 2（2 / 2 分冊）

評価人 不動産鑑定士

江 本 庸 時

第1 評 価 額

番 号	評 価 額
2	金 7,320,000 円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番 号	所 在 等	登 記 上	現 況
2	(一棟の建物の表示)		「特記事項」欄参照
	所 在	行橋市中央三丁目482番地1	
	建 物 の 名 称	グランドパレス行橋駅前	
	(専有部分の建物の表示)		
	家 屋 番 号	中央三丁目482番1の36	
	建 物 の 名 称	1101	
	種 類	居宅	
	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造1階建	
	床 面 積	11階部分 71.08 m ²	
	(敷地権の目的である土地の表示)		
	土 地 の 符 号	1	
	所在及び地番	行橋市中央三丁目482番1	
	地 目	宅地	
	地 積	1,016.55 m ²	
	(敷地権の表示)		
土 地 の 符 号	1		
敷地権の種類	所有権		
敷地権の割合	209 / 10,200		
特 記 事 項			
・ 建物の評価にあたっては、専有部分の床面積のほかに共用部分等も含めるため、固定資産税評価証明書記載の床面積 (79.39m²) を採用した。 ・ 敷地権の目的である土地の数量は、現地の状況や建物の制約等により正確に確認できないが、概測により登記地積と同程度と判断されるので、登記地積を採用して評価した。			
住 居 表 示		「 行橋市中央三丁目7番6-1101号 」	

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通 (直線距離)	JR日豊本線「行橋」駅の南東方、約350m。 太陽交通「行橋駅東口」停留所の南東方、約350m。 (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	行橋市中央三丁目地内に店舗、マンション、併用住宅、一般住宅等が建ち並ぶ商業地域である。 地価は近年上昇基調にあるが、地域環境等に大きな変化は認められず、今後も現状維持で推移すると予測される。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制)	都市計画区分	非線引き都市計画区域
	用途地域	商業地域
	建ぺい率	80%
	容 積 率	400%
	防火規制	準防火地域
	その他の規制	居住誘導区域内、都市機能誘導区域内
画 地 条 件	規 模	1,016.55㎡
	形 状	ほぼ長方形 (別添「公図(写)」参照)
	間口・奥行	約35m・約29m
	接道関係	下記のとおり、中間画地。
	そ の 他	特記なし
接 面 道 路 の 状 況	・東側で幅員約8mの舗装市道(建築基準法第42条第1項の道路に該当)に概ね等高に接面。	
土地利用状況等	土地利用状況は「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上水道 : あり ガス配管 : なし 下水道 : あり (注)敷地内への引き込みを基準とし、「あり」とは引き込みがある場合、「なし」とは引き込みが無い場合である。	
特 記 事 項	・現地調査、関係者等からの聴取及び官公署における公表資料を調査した範囲では、埋蔵文化財包蔵・土壌汚染をうかがわせる事実は認められなかった。 ・東側の一部が都市計画道路の区域内に指定されているが、評価時点現在、都市計画決定の段階であるため、評価上は当該事項を注記するに留め、特段の増減価は行わない。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	グラントパレス行橋駅前
建物の用途	共同住宅 (総戸数 51 戸)
建築時期及び経済的残存耐用年数等	建築年月日(登記記載) 平成8年4月30日 経過年数 約 29 年 経済的全耐用年数 約 40 年 経済的残存耐用年数 約 11 年
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根14階建 合計床面積 3,878.97 m ² (登記上)
仕様	外壁 タイル貼、吹付タイルほか 屋根 陸屋根 その他 特記なし
設備等	エレベータ 1基 駐車場 全28台分 (賃貸) 集会所 あり 管理人室 なし その他 オートロックシステム
建物の品等	使用資材 普通 施工状態 普通
管理の形態等	委託管理
管理の状況	外観上、偶発的損傷等は観察されず、保守管理の状態は普通である。

(2) 専有部分の概要

構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造1階建
位 置	11階部分の角区画（南採光）
床 面 積	登記記載 71.08㎡ 固定資産税評価証明書上 79.39㎡
間 取 り	3LDK+S、バルコニー約22.7㎡ (別添「間取図」参照)
仕 様	天 井 ビニールクロス貼、化粧合板ほか 床 フローリング、タタミほか 内 壁 ビニールクロス貼ほか 設 備 電気、ガス、給排水設備等 その他 特記なし
保守管理の状態	やや劣る（室内は物が溢れ詳細には確認できなかったが、目視可能な範囲では、猫による壁クロス等の引っかき傷、ドア等の損傷、ベランダの糞害等が見られた。）
管 理 費 等	「現況調査報告書」記載のとおり。
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	・建物に附属する各種設備については、その動作を確認出来ないで、使用可能かどうかについては不明である。

第5 評価額算出の過程

本件においては、積算価格と比準価格を求め、試算価格を調整のうえ、評価額を後記のとおり決定した。

1 積算価格の試算

建物価格に敷地権価格を加算して、対象物件の積算価格を試算した。

(1) 建物の価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて建物価格を求めた。

再調達原価(円/㎡) ア	床面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格(円) ア×イ×ウ
280,000	79.39	0.32	7,110,000

【注】計算結果の数値は、万円未満を四捨五入した。(以下同じ)

ア 再調達原価

間接法を適用し、同一需給圏内に存する類似建物の標準的な建築費用(マンション分譲事業において別途必要となる販売費、一般管理費、金利、利潤等の附帯費用を含む)等と秤量して査定した。

イ 床面積

専有部分の面積のほか共用部分等の面積も反映させるため、固定資産税評価証明書記載の面積を採用した。

ウ 現価率(定額法)

減価修正にあたっては、耐用年数に基づく方法のうち定額法を採用し、それにより求めた現価率を基本として、これに観察減価法による補正を施して現価率を査定した。

$$\text{現価率} = \{1 - (1 - R) \times n / N\} \times (1 + q) = 0.35 \times 0.90 = 0.32$$

R : 残価率 10%

n : 経過年数 約 29 年

N : 経済的全耐用年数 約 40 年

q : 観察減価法による補正率 -10% (保守管理の状態等を考慮)

(2) 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建 付 減 価 エ	敷地権割合 オ	敷地権価格 (円) ア×イ×ウ×エ×オ
66,700	1.00	1,016.55	1.00	209 / 10,200	1,390,000

ア 標準画地価格・・・標準地「行橋5-2」の公示価格等を規準として査定した。

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$$81,900\text{円/㎡} \times \frac{101}{100} \times \frac{100}{100} \times \frac{100}{124} = 66,700\text{円/㎡}$$

*時点修正 : 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

*標準化補正 : 補正要因無し 1.00

*地域格差 : 街路条件 接近条件 環境条件 行政的条件 地域格差
 1.06 × 1.06 × 1.10 × 1.00 = 1.24

イ 個別格差・・・・・・ 増減価なし

1.00

ウ 地 積・・・・・・ 登記数量による。

エ 建付減価・・・・・・ 建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

オ 敷地権割合・・・・・・ 登記上の敷地権割合による。

(3) 積算価格（敷地権付建物の価格）

建 物 価 格 (円) ア	敷地権価格 (円) イ	個別格差 (階層・位置・品等程度) ウ	積算価格 (円) (ア+イ)×ウ
7,110,000	1,390,000	1.07	9,100,000

ウ 個別格差・・・・・・ 一棟のマンション内における階層・位置・品等々の
 効用格差等を考量して査定した。

2 比準価格の試算

基準階の比準価格 (円/㎡) ア	個別格差 (階層・位置・品等程度) イ	専有面積 (㎡) ウ	比準価格 (円) ア×イ×ウ
158,000	1.01	71.08	11,340,000

ア 基準階の比準価格： 近隣地域及び同一需給圏内の類似地域にある同類型の区分所有建物の取引事例等を収集分析し、各種補修正及び価格形成要因の比較を行って、基準階専有部分の登記専有面積1㎡当たりの比準価格を査定した。

イ 個別格差： 一棟のマンション内における階層・位置・保守管理の状態等を考量して査定した。

ウ 専有面積： 登記の専有面積（内法）による。

3 評価額の判定

(1) 試算価格の調整

積算価格・比準価格が下記のとおり算定された。

それぞれの試算価格の有効性や当該物件の特性等を検討した結果、本件では、次表のとりのウェイトで考慮することが妥当であると判断し、本件物件の調整後の価額を下表のとおり査定した。

	占有減価修正前の 試算価格 (円) ア	占有減価 修 正 イ	試 算 価 格 (円) ア×イ	調整割合
① 積算価格	9,100,000	1.00	9,100,000	20%
② 比準価格	11,340,000	1.00	11,340,000	80%
調整後の価格	10,890,000円			

イ 占有減価修正 : 修正の必要は無い。

(2) 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額の減価並びにその他の控除減価(敷金等)を考慮して評価額を求めた。

番号	調整後の価格 (円) ア	市場性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 減価 (敷金等) オ	評 価 額 (円) (ア×イ×ウ×エ)ーオ
2	10,890,000円	1.00	0.70	0.96	0	7,320,000円

イ 市場性修正 : 修正の必要はない。

ウ 競売市場修正 : 評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

エ 滞納管理費等相当額の減価 : 代金納付に至る間の管理費等の滞納相当額を考慮した。

オ その他の控除減価 (敷金等) : 買受人の引受けとなるべき敷金等の預り金を控除する。

第6 参考価格資料

地価公示価格：標準地「行橋5-2」
所在：行橋市宮市町372番1
住居表示：宮市町4-11
価格：81,900 円/㎡（対前年変動率 1.9%）
価格時点：令和7年1月1日
地積：595 ㎡
地域の概要：店舗、事務所等が建ち並ぶ駅前の商業地域
接面街路：西側幅員約17.7m 市道
供給処理施設：水道、下水
位置：JR日豊本線「行橋」駅の北東方、道路距離120m。
用途指定等：商業地域（建ぺい率 80%、容積率 400%）
準防火地域

第7 附属資料の表示

1 位置図	2 葉
2 公図（写）	1 葉
3 建物図面（写）	1 葉
4 間取図	1 葉
5 現況写真	2 葉

（B I T用は位置図のみ添付。その他は現況調査報告書を参照。）

以 上

位置図

地理院地図

GSI Maps

N

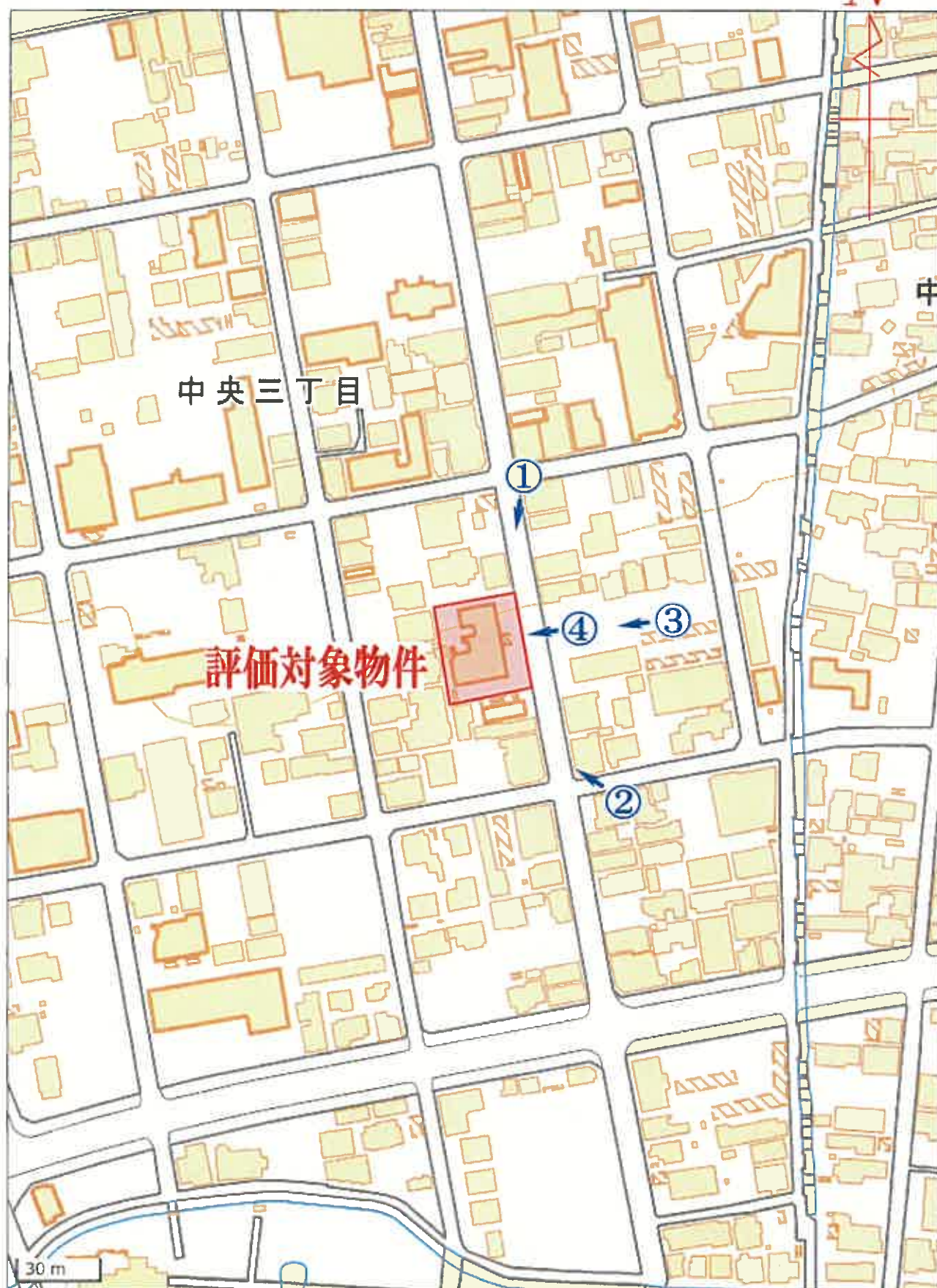


「国土地理院 電子地形図(タイル)」より引用

●	評価対象物件
●	公示地

位置図

地理院地図
GSI Maps



「国土地理院 電子地形図(タイル)」より引用

←○写真撮影位置